

瀬谷青指だより

「AED 研修会」

11月28日に青少年指導員の全体研修会を行いました。昨年はコロナ禍で開催できず、10月に入り感染者が急激に減り、改善傾向が続いていることから開催に踏み切りました。

今回は、瀬谷消防署から2名の講師を迎えAED研修会を行っていただきました。AED研修は過去に何度か実施されていますが、コロナ禍での研修は初めてで、講師の冒頭のあいさつで、「倒れている人は、新型コロナウイルス感染者かもしれないと“疑ってかかる”ことを忘れず、人工呼吸はもちろん口元に顔を近づけたりしないよう注意して対応いただきたい」と強く訴えていました。

実技演習に入る前に啓発のDVD救急アニメ「救え！ボジョレー！！」が上映されました。このDVDは、心停止で奪われた命が多くあることを伝えるメッセージビデオで、実技演習に入る前の青少年指導員30名のモチベーションを大いに奮い立たせてくれました。

続いて講師によるデモンストレーションが行われ、いよいよ実技演習の始まりです。各地区から参加した3名がひとつのチームとなり、発見者、AED操作、119番通報の役割をローテーションしながら実施しました。

今回の実技演習では、胸骨圧迫を30回実施したところでAEDが到着することを想定して行われました。30回なんて簡単と思われましたが、見た目以上に上半身を模擬した人体模型の胸は硬く、力のいる作業で終わった後の表情には疲れと汗がにじんでいました。



講師のあいさつ



デモの様子



実技の様子

実技演習の後は、AEDで息を吹き返し救急車を待っている時の対応として、舌根沈下を防ぐ「回復体位」の方法や、出血している場合は感染防止のために直接血液に触れずカーゼやハンカチで止血する方法を実演いただきました。また、お正月が近づいてきたため、お餅などを喉に詰まらせた時の、「後部殴打法」による気道異物除去の方法を学びました。

今回の研修は、とても内容の濃い研修で1時間30分という時間があっという間でした。いざという時は、この研修会を受けた一人として自信を持って人命救助にあたりたいと思います。



回復体位



止血の方法



後部殴打法

せやっこ農体験

11月7日 上瀬谷農地

5月開催が「まん延防止等重点措置」の期間中で開催できなかったため、第1回となってしまいました。今年も上瀬谷農地で、さつまいも、にんじん、さといもの3種類の収穫が行われました。当初天気が心配されましたが、風もなく、季節的にも暑くも寒くもなくという日陰のない畑作業をするには絶好な天候での開催となりました。今年にはコロナ禍で参加者募集は小学5、6年生のみ総勢14名と例年の2割弱とずっと少な目。収穫作業は、中央農業高校のお兄さんお姉さんたちに手伝ってもらいながら、子どもたちだけではなく、一緒に参加したお父さんやお母さんなど家族と一緒に行いました。



短い時間ながらも、持ちきれないほどの収穫量でした。収穫の後は、中央農業高校の皆さんによる食育タイム。クイズを交え楽しく交流できていました。

12月12日 相沢良牧場

相沢良牧場の協力で開催しました。牧場のお仕事や苦労話、牛乳などの生産、流通、販売などの説明の後、バターづくり。バターは、生クリームをシャカシャカと振ると分離してバターになるそうです（14～15℃くらいが理想らしい）。

今日は少し温かくなりすぎたといっていました。子どもたちも一生懸命振っていました。参加した子どもたちもみな楽しかったといっていました。来年は、もう少したくさん子どもたちと開催出来たらいいなと思います。



瀬谷かるた大会

正月の大イベント
「瀬谷かるた大会」

残念ながら、今年も開催できませんでした。

楽しいチーム名、ユニフォーム等、楽しみにして頑張ってきた子供たちがまた対戦できる日まで！瀬谷かるたでまた会いましょう。



瀬谷っ子探検隊

コロナ禍で実施出来なかった活動に、瀬谷っ子探検隊があります。これは20年以上続いている、過去には市外へ行くこともあったお出かけ行事です。

近年では旭区のこども自然公園（大池公園）や大和市の泉の森の散策に行きました。みんなで一緒に電車に乗って各地に向かいます。公園ではクイズラリーや植物の名前を集めるゲームなど、チーム行動で楽しめます。そして、お弁当を食べてからの自由時間では青指スタッフと、鬼ごっこや植物採集などで楽しい時間を過ごしていました。クイズラリーのチームごとの順位を発表し、上位チームにはメダルや景品もありました。

早くコロナ禍が収束して、また実施出来たらいいなと思います。



瀬谷区の各地区紹介

瀬谷第二地区

瀬谷第二地区には23の自治会があり、今期は21名で活動しております。我々は子どもたちの心豊かな成長を願い、地域で子どもたちが楽しめる行事を企画していますが、この2年間はコロナ禍でまともに活動できていません。

これまでは毎年、青指独自の「青少年の集い（潮干狩り）」と「ジュニアキャンプ」を実施し、子ども達には大人気でした。今後も大自然の中で、普段はできない貴重な体験や異年齢交流を通して、子どもたちの笑顔や思い出作りに少しでも

役立ってくれたらと願っております。

また、瀬谷第二地区連合主催の文化祭では、餅つき即売会の実施、レクリエーション大会の運営支援などの活動も積極的に協力しております。



瀬谷第四地区

瀬谷第四地区は12自治会、15名で活動しています。この2年、コロナ禍ということもあり活動らしい活動は出来ていないのですが、本来であれば、青指主催で夏に行く「南伊豆キャンプ」をはじめ、秋と冬には、瀬谷第四地区連合自治会主催で「地区レクリエーション大会」と「紙飛行機&餅つき大会」など、子どもたちと顔を合わせる活動が年に何回かあります。

特に夏のキャンプは自然あふれる南伊豆で「人（仲間）とのふれあいを大切に」をキャッチフレーズに毎年60人規模で2泊3日のキャンプを行っています。

シーカヤックや海水浴など海辺での行事の他、ハイキングやナイトウォークを兼ねて花火大会などなど、限られた時間の中で様々な活動を行っています。

帰るころには、みな真っ黒に日焼けして楽しそうな顔をしています。

異年齢の集団で、寝食をともにする良い機会でもあり、今後も継続していきたい、と考えています。



現地で見れた天の川



全市一斉統一行動 パトロール活動

相沢地区のパトロールをご紹介します。今年度は、7月24日（土）に実施しました。

なかなか活動がままならなかったところでしたが、昨年度新調したユニフォームを着用し、指導員も気合を入れて午後8時に集合。

ゆたか幼稚園、瀬谷第三公園、横浜市瀬谷センターを経由し瀬谷小学校前に至るルートを全員で確認しました。

コロナ禍ということもあり、出歩いている人自体が少なく、飲食店の営業も終了している状況でした。

静かなパトロールとなり、ステイホームに協力する安全な相沢地区を再確認し解散しました。



瀬谷区青少年指導員 新アイテム紹介！

瀬谷区青少年指導員では、普段さまざまな活動を行っています。主に屋外での活動も多く、一年を通して日々励んでいます。

今年度の活動も「新型コロナウイルス感染防止」の観点から、活動のほとんどが中止になってしまいました。

しかし、次年度こそは通常開催できるように願いつつ、一年を通して使える「ウィンドブレーカー」を新アイテムとして揃えました。胸には青指のシンボルマークが入っており、気合いも入りそうです。

来年度の活動でぜひお披露目したいと、切に願っています。



新アイテムのウィンドブレーカー

編集後記

昨年度から続くコロナ禍で、今年度も青少年指導員の活動がほとんどできていません。そのような中でもいくつかの活動ができたので、それを中心に紙面を構成できました。まだまだ、予断を許さない状況が続いていますが、今までとは少し違う形ではあるものの少しずつ活動が再開し始めています。またみんなで楽しく活動できる機会を心待ちにしています。

編集委員長 高萩俊行

令和3年度 表彰

★神奈川県青少年育成活動推進者表彰

小西川 圭（瀬谷北部）

★神奈川県青少年指導員表彰

阿久津 修（瀬谷北部）

★横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

【20年顕彰】

廣田 理恵子（三ツ境） 阿久津 修（瀬谷北部）

皆川 博之（瀬谷第二） 菊地 勝也（南瀬谷）

【15年顕彰】

八嶋 博聡（瀬谷第一）

【10年顕彰】

三浦 秀俊（阿久和北部） 野中 明（阿久和北部）

大滝 博（本郷） 矢澤 拓朗（瀬谷北部）

八代 一宇（瀬谷第二） 高萩 俊行（瀬谷第四）

鈴木 崇光（瀬谷第四） 斎藤 久江（南瀬谷）



（このは）

第27期青少年指導員 編集委員会

編集委員長 高萩 俊行（瀬谷第四）

編集委員

佐野 剛慎（阿久和北部） 阿藤 一利（阿久和南部）

坂部 徹（三ツ境） 山内 祐子（瀬谷第一）

大滝 博（本郷） 亀井 由香（瀬谷北部）

斎藤 善昭（瀬谷第二） 片山 圭祐（細谷戸）

鈴木 崇光（瀬谷第四） 菊地 勝也（南瀬谷）

鬼塚 優司（宮沢） 沼尾 航（相沢）

【発行】瀬谷区青少年指導員連絡協議会

【編集】瀬谷区青少年指導員編集委員会

【事務局】瀬谷区役所地域振興課

電話 367-5693~6

FAX 367-4423

青指…青少年指導員の略

せやまる・このは…瀬谷区のキャラクター